

草子洗 近詠

平成27年 田誌1・2月号より

寢殿をひろがつてゆく天の川
猪のおやこ静かに鼻ぬらす
一冊の本に呼ばるる白露かな
弁当をしよつてのこのこきのこ狩
にぎやかな鈴虫の壺もらひけり

殻つきの皺か模様か落花生
夕やみの海へ流星緑なす
秋麗やヴェーナスの首白々と
倒木の腐してきこの盛りなり
枯野へとジャズボーカルの目の潤み